

港湾整備事業評価委員会 議事要旨

日時：平成22年1月21日（木） 11:00～12:00

場所：中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

○冒頭、辻元清美国土交通副大臣より挨拶があり、引き続き、委員互選により、黒田勝彦委員が委員長に選出された。

○各委員からの主な意見は以下の通り。

- ・当該事業は外交上も安全保障上も重要なものではないか。
- ・今回の評価方法はこれで良いが、今後のこととして、外交上、安全保障上、我が国の権益が確保されることの価値を「仮想的市場評価法（CVM）」を用いて便益換算することについて、検討が必要ではないか。
- ・必要最小限の整備を行うだけでなく、より使いやすい、使い勝手の良い港湾整備にするという考え方もあるのではないか。
- ・一般の船舶が使う港湾ではなく、国益や国土の維持保全を目的とする港湾が南鳥島の他にも必要なのかどうか、今後、積極的に検討して頂きたい。
- ・なぜ栈橋構造ではないのか。岸壁の構造を決定した考え方について、資料に記載しておく必要がある。
- ・海底資源の開発は政府が推進すべき課題であり、政府として今後推進されるよう期待する旨、本委員会の審議結果として付記していただきたい。

○審議の結果

- ・南鳥島における活動拠点整備事業の新規採択時評価については適当である。
なお、国におかれては政府をあげて海洋資源開発の一層の推進を図られたい。

以上